



龍門滝



かじき

広報

町制施行80周年
記念特集号

平成4年12月

題字 宇都宮町長



真夏の共演!

県下5市町が参加

80周年を祝う

時は流れ、
先人の熱い血潮を引き継い
だ加治木丸は、いくつものけ
わしい波濤を乗り越え、

今——平成の湊に着いた。

加治木町は明治四十五年六

月一日、県下で最初に町制を

施行以来、今年で八十周年を

迎えました。

いろいろな行事が町制施行

八十周年と銘打って盛大に開

催されましたが、何と

もメインイベントは、県内の

島津氏ゆかりの太鼓踊りを集

めた「太鼓踊りフェスタinか

じき」でしょう。大太鼓を抱

え、真夏の炎天下にジリジリ

と足を焦がしながら踊った徳

重神社大バラ太鼓踊りの雄姿

が思い浮かべられます。

柁城小学校で (8月16日)

向け な一歩を!!

町制施行 80周年記念

ひしひしと心にせまる

八十年の重みと尊さ

記念式典を開催

町制施行八十周年を祝う記念式典は十一月二十一日、本県選出の国会議員をはじめとする町内外のおおぜいの来賓や関係者の方々が臨席し、加治木小学校体育館で盛大に開催されました。

記念式典では、下楠菌助役が開式を宣言、国歌斉唱、物故者に対して黙とうを捧げた後、宇都宮町長の式辞、山崎町議会議長のあいさつに続き、初代名誉町民の称号を佐藤八郎医学博士に、初代町民栄誉賞を井筒親方（代理・渡辺賢



式辞を述べる宇都宮町長

一郎氏)に、それぞれ記念の証書とタテを授与。また、長年町勢の発展に貢献されたかたがた百七十五人と八団体に感謝状や表彰状が贈られたほか、「くも合戦フェスタ写真・標語」と「町制百周年の加治木町」絵画入賞者の表彰も行われました。

祝賀会はグラウンドの特設テントで催され、今回は特に、食生活改善推進グループをはじめ町内各種婦人八団体の協力により、竹細工を使った盛りつけや、いろいろ

な趣向をこらした色彩感あふれる郷土料理四十種類余りが会場いっぱいに並べられ、「いつも食べている郷土料理が、こんなりっぱなご馳走になって……」とみんな称賛の声を上げ、盛んにハシを伸ばしていました。

また、式典前に「スライドに見る八十年の歩み」が上映されましたが、会場のみなさんは、それぞれ頭に浮かぶ昔の面影を重ねているのか、「ああ、なつかしいね。あんな時代もあったなあ」と、感懐深げにスクリーンに見入っていました。

人の心につながる歴史の重さ、尊さをひしひしと感じさせられました。

町長式辞

本日、ここに加治木町町制施行八十周年記念式典を開催いたしましたところ、本県選出の国会議員の諸先生、鹿児島県知事、県議会議員、自治体の関係者をはじめ、多数の来賓の御臨席を賜り、町民の皆様方とともに盛大に挙行できますことは無上の光栄であり、私の大きな喜びとするところであります。

さて、波静かな錦江湾と雄大な桜島を望む緑豊かなまち加治木町

は、ご案内のとおり、明治四十五年六月一日、県下で初めて町制を施行し、本年で満八十年を迎えました。この八十年をふり返ってみますと、今日までの過程にはいろいろな苦難と社会情勢の大きな変化がありました。

昭和二十年八月には、戦災により市街地の大部分が焼失いたしました。戦後まもなく戦災復興都市計画事業が着手されました。また、昭和二十二年には長谷地区、昭和二十八年には辺川及び迫地区の合併により新しい「加治木町」が誕生し、昭和二十七年には現在の中心市街地一帯の基盤が整えられたのであります。昭和三十二年には上水道が完成、四十二年には始良西部衛生処理組合が、また四十七年には始良西部消防組合が業務を開始し、環境衛生や防災面の整備充実が図られました。

また、隣接する溝辺町の国際空港の開設、九州自動車道や加治木単人道路の建設などは、わが町の産業経済の発展に多大な影響を及ぼしているところでございます。時代は、国際化、情報化、高齢化と流れる中、わが町を取りまく環境も大きく変貌しようとしています。

元号も改まり、平成四年を迎えた現在、人口二万三千有余、面積四七・三五平方キロメートルを有するわが町、加治木町は、先人たちが築いてこられた教育と文化などの由緒ある伝統を後世に引き継ぐため、「住んでみたくなる町、

2001年に 新たに

議長祝辞



山崎 昭町議会議長

本日、町制施行八十周年記念式典を迎え、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

教育・文化・経済の古い歴史をもつ加治木町。かつて、島津義弘公の城下町として、文武の伝統が今も生きている加治木のまち。ここに、多くのご来賓のご臨席を賜り、県下最長、八十周年記念式典ができますことは、大きな慶びであります。その昔、舟の舵が砂浜で芽を吹き、地名が生まれたという加治木の町も、今や人口二万三千人余りで、裁判所、検察庁、法務局、税務署、警察署など多くの国・県の出先機関を有し、陸海の要衝の地として、大きく年輪を重ねて参りました。

明治、大正、昭和、平成と引き継がれてきた歴史は、歴代の町長をはじめ、町当局と議会、教育、民生、福祉、建設、経済、すべての先人たちの知恵と努力の成果であります。本町八十年の歩みと発展は、その方々尊い犠牲を伴ったものであり、平和な繁栄を末長く築いて行くうえで、深く心に刻んでいかねばならないものであります。「新しいふるさとを創造する交流拠点かじき」をスローガンに、今日もたゆまぬ努力を続ける加治木町。滝百選の龍門滝から高岡公園を結ぶ一帯の整備、この一角に近く着工される国際交流の館、京セラ研修施設。木田本通り線の全面開通に引き続き、延長される海浜通り線、さ



おおぜいの人が列席

加治木町」の実現に向けて、町民一丸となって取り組んでいるところでございます。

私は、町制施行八十周年のこの意義ある年に当たり、幾多の困難と試練を克服し、今日の豊かな加治木町を築き上げられました先人の不屈の情熱とたゆまぬ御努力に對し、町民の皆様とともに深い敬意と感謝の意を表する次第でございます。

また本日、表彰をお受けになる皆様方の多年にわたる功績をたたえ、衷心よりお喜びと感謝の意を表しますとともに、加治木町政発展のため何かと御指導を賜っております国、県をはじめ、関係各方面の方々に対しまして、心から感謝申し上げます。

私は、町づくりとは「終わりのない営みである」と考えておりま

す。

本日、加治木町は新たな発展に向かって第一歩を踏み出すわけでございますが、町制施行八十周年を契機として、二十一年に向けた新総合振興計画を策定し、日本の加治木・世界の加治木として全世界にメッセージを発信する国際都市の実現めざして町議会並びに町民の皆様方とも全力を尽くしてまいります。

終わりに際し、この輝かしい八十周年記念式典に当たり御臨席を賜りました来賓の皆様方におかれましては、本町に対しまして、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。私の式辞といたします。

い古郷を築いていかねばなりません。

最後に、本日の式典に花を添える受賞の皆さん方、本町で初の名誉町民と町民栄誉賞も誕生することになり、心から祝福を申し上げます。

それぞれの部門で表彰される皆様の功績をたたえ、さらに今後のご活躍を期待申し上げます。

八十周年記念式典にあたり、ご臨席の皆様方に心から感謝を申し上げます、ご健康を祈念し、私のごあいさつといたします。

文明の進化から、現代に求められている心の時代。心の通うやすらぎの理想郷を建設することが、私どもに与えられた課題であり、住民の願いであります。町当局と議会、住民が互いに協力し合い、近隣の町とともに新し

町勢発展に貢献

十人に感謝状、一七一人に表彰状、二人に記念賞

〔地方自治部門〕

感謝状

○歴代町長 東 國雄

○歴代助役 岩田一郎、川崎貞義(故人)、向江重光

○歴代収入役 岩屋 稔

○歴代議長 大吉 操

表彰状

○県議会議員 溝口宏二

○町議会議員 下楠蘭正、湯川静夫、猪俣信男、下猶篤男、福元司、溝口久男、郡山利春、土橋兼義、宮路義和、迫田正則

○自治会長 米良紀、別府ユキノ

○納税組合長 大徳喜良、濱田兼春

○消防団員 市来原松義、分部省吾、大山一男、

黒川龍男、日高利、馬場幸生、今西清春、鶴 幸男、桃木野透、西村勝、内村清己、今吉亨、外村秋夫、池上時伸、今村芳男、小宮路福吉、大宮路鶴美、田中健二、上別府満幸、川原輝夫、東川内肇、三好茂、有馬義則、今別府盛義、中野次男、松葉瀬義美、増田新、江口昇

○人権擁護委員 宮城俊治、中摩多美子

○前選挙管理委員会委員 嶺元政範、六反政雄、隈元義己

○元統計調査員 川畑スミ、村下久信

○前代表監査委員 新納正教

○町職員(退職者) 脇田郁穂、中原茂春(故人)、長谷正治、安藤良光、鷺山守道(故人)、篠岩利治、四元義照、松元真、坂元秋雄、木下幸江、竹下正子、福島三郎、猪目明、城正昭(故人)、入部兼宜、上枝照男、迫屋清治、東清治、堂森輝文、飯屋蘭ハルエ、向江巧、柏木タミエ、東百治、向江豊、隈原サチエ、本村利和、溝口利男、森木幸雄、福森茂、竹下スミ子

園田竹次郎、福村厚行(以上故人)

○教育委員 榎蘭明、大井千尋

○教育長 市来朴、桑幡元長(以上故人)、寺崎豊志、能瀬英次

○地区公民館長 増田昌弘、篠崎秋明

○文化財保護審議委員 瀨川新義、吉村次男、白尾春樹、城國廣

○加治木ロータリークラブ 加治木ロータリークラブ

○岩原あすなろ会 岩原あすなろ会

○竜門西元五月会 竜門西元五月会

○郷土芸能の振興 福元篤、下楠蘭勲、新繁、蘭田義則、中森一雄

○龍門司焼陶工 川原弘雄

○前町スポーツ振興審議会委員 岡山秀樹

○町体育指導委員 竹下虎雄、郡山健次(故人)

○学校教諭 松下武二、内田真、米留健一、福本昌弘

○町保健師 川畑利夫、馬場恒子、右田利幸、桐原千尋、牧道孝、松本忠、石原正俊

○医療援護(助産婦) 穂森キクエ(故人)、内村アキエ、日高サチ

○医療援護(看護婦) 須崎自治会

○民生委員 竹内親男、永原武男、山元重志、大宮路仕、富岡アヤ、鎌田靖子、野間ミヨ子、岩元博子、立山恒幸、井上福井

○老人等介護者 立元和子、有村政光、岩下みどり、米森レイ子

○福祉施設建立者 高田昌英

○元町老人クラブ連合会会長 稲田進

○元町家庭奉仕員 中元トミ

○元町身体障害者福祉協議会会長 児玉實憲

○町商工会 町商工会、町商工会青年部

○農業協同組合代表 岸野廣、福元岩雄

○町建設同志会会長 岩澤英美

○錦海漁協 松田繁美

○農村振興運動・地区推進委員 米沢清美

○農業構造改善事業 外園貢

○医療援護(看護婦) 河野ミチエ

○食生活改善推進員・母子保健推進員 木村ノリ子、富永ヒサエ、取違徳子、米津ミキ、森木カズ子

○環境衛生 須崎自治会

○民生委員 竹内親男、永原武男、山元重志、大宮路仕、富岡アヤ、鎌田靖子、野間ミヨ子、岩元博子、立山恒幸、井上福井

○老人等介護者 立元和子、有村政光、岩下みどり、米森レイ子

○福祉施設建立者 高田昌英

○元町老人クラブ連合会会長 稲田進

○元町家庭奉仕員 中元トミ

○元町身体障害者福祉協議会会長 児玉實憲

○町商工会 町商工会、町商工会青年部

○農業協同組合代表 岸野廣、福元岩雄

○町建設同志会会長 岩澤英美

○錦海漁協 松田繁美

○農村振興運動・地区推進委員 米沢清美

○農業構造改善事業 外園貢



感謝状を受ける東國雄元町長

〔教育文化部門〕

○教育委員長

〔社会福祉部門〕

○医療援護(医師)

○医療援護(助産婦)

○医療援護(看護婦)

○教育委員

〔産業経済部門〕

○町商工会

○農業協同組合代表

○町建設同志会会長

○錦海漁協

○農村振興運動・地区推進委員

○農業構造改善事業

外園貢



特設テントでは祝賀会が盛大に

○始良西部森林組合
始良西部森林組合(造林作業嶽班)
○特産品開発
塩満清子
○町くも合戦保存会
町くも合戦保存会
○農業委員会
藏満洋一、石原五男、武田義則、
福ヶ迫貢、岩澤学

〔一般篤行部門〕

感謝状
○東京加治木会
立山慶二、岸野吉、長谷場純一
○一般篤行
園田静夫(故人)

表彰状
○一般篤行
永井チリ子、下楠蘭正昭、坂元慶
二、小野良光、別府武久、東利夫、
屋所清志、池田成夫、是枝快春(故人)

八十周年記念部門

○八十周年記念
河野一弥、中村佳代子

〔絵画コンクール〕

入賞者

○大賞
岩穴口直
○優秀賞

野間歩、狩集恵、前田大作、犬童
恵美、内村昌弘、古江美紀、秋宗
章太、藤重新、寺原京伸、畠中琢
己、積亜由美、川田浩之、前畠奈
々、武田愛、中村麻美

○佳作

高津秀孝、福元翔、廣津周、山口
あゆみ、猪俣愛、地久里友仁、楠
元康規、中原雄介、有元省吾、濱
島恭平、緒方ゆかり、国生俊二、
吉井奈々絵、三木大助、中野亜樹
子、屋所幸代、福森小百合、田中
照一、福留理恵、内村友美、脇岡
奈美子、竹下洋平、藏園正樹、山
口高志、白坂哲也、松元ゆかり、
池田英樹、二宮奈美、竹添慎也、
恒森雅美

くも合戦コンクール

入賞者

〔写真の部〕

○金賞
辻典昭
○銀賞
住高秀、雪丸文男
○銅賞
小原洋海、小原健一、寺師朝美
〔標語の部〕
○優秀賞
徳永勝子
○優秀賞
横峯由子、佐久間健士
○佳作
鹿倉友子、原田新也、横峯弘

名譽町民

お礼の
ことば

〈佐藤八郎氏〉



加治木町は町制施行八十周年を迎えられ誠にめでたくご同慶に堪えません。

私は好運に恵まれて加治木で生まれ、加治木町の発展とともに育つてきたことを大きな誇りに思っております。この度はからずも名誉町民第一号という破格の栄誉を与えられ、青天の霹靂、感謝、感激に堪えません。

宇都宮明人町長はじめ町当局、町議会、選考委員会、町民の皆さんの暖かい一方ならぬご友情、ご支援に対し、何と御礼申し上げてよいかわからない気持であります。

実は去る九月二十八日宇都宮町長から電話で名誉町民の話聞き、とんでもないこと、そんな資格なんかありませんとお断りしましたところ、その翌日の朝、町長が総務課長同伴鹿児島の私の家まで来られ、町民の代表としてお願いすると再三申され、承諾するまで帰らないとねばられまして、三顧の礼と申しますか、遂にお受けすることにした次第でございます。私だけ選ばれて面はゆい、内心忸怩たる思いを禁じえません。七〇周年記念の時私の亡き父が長年町役場に勤めさせていただいて自治功労者として表彰されました。私も

学術衛生のことで表彰される光栄に浴したことを思い、今日私が又特別な功労もないのに身に余る最高の栄誉を与えられ重ね重ねの光栄之に過ぎるものではありません。果報者だと思っております。これも長年の皆様方の御芳情のお陰であります。

ここに心をこめて厚く厚く御礼申し上げます。

私は人生の大部分を医師として大学で医学教育、診療、研究に従事して多くの立派な医師が育つてきました。鹿児島大学では加治木町出身の九名の優秀な諸君に恵まれ一緒に勉強してきましたこと、又多くの加治木町の皆さんと親しく交際させていただいたことは、まことに有り難い楽しい思い出です。

私は萩原に生まれ、柘城小学校から加治木中学に入り、幼年学校を受けましたが体格虚弱ではねられ、軍人学校に入るのを断念して七高に入り汽車通学しました。

小さい時から母の持病の喘息発作の苦しきを見て育った私は医者になろうと九大医学部に入りました。

卒業して医師となり研究中私自身肺結核にかかり半年間入院生活

をしました。当時結核の薬はなく亡国病といわれ結核死亡は国民死亡の第一位で青年の結核死が多いので私も死ぬのではないかと悩み心配しましたが幸いに治りました。この間私は病人の心理、気持ちを体験しました。「医師は病人のためにはないのであって、己のためのものではない。病人の気持ちを汲んで誠意をもって治療に当たらなければならぬ」という当たり前のことですがそれを実感して今日までその気持で病人に接しております。

又大病院を訪れる患者の中には手おくれの人が時々おりますので、助かる中に診断して早く治療しなければならぬ。そこで自覚症状のない一般大衆の中に入って集団検診して早期発見、早期治療する予防医学が大切であると痛感し「予防に勝る治療はない」として集団検診をはじめました。パランスのとれた食事、運動、禁煙等も大切であります。今国民死亡の第一位のガンについては胃ガン、子宮ガン、肺ガン、乳ガン、肝臓ガン、大腸ガン等の集団検診が実施されています。皆さんも少なくとも年に一回は検診或いは人間ドックを受けて幸福な人生を送っていただきたい。

思い出の一つは日本からフィラリア症を追放したことであり、フィラリア症は蚊による熱帯慢性寄生虫性伝染病でリンパ系に寄生する。はじめは無症状であるが発熱したりして末期にはリンパ管閉

鎖となり象皮病、陰囊腫(うぎんたま)、乳び尿までおこる。沖縄、鹿児島が最も多く双壁、長崎も多く、北海道を除く全国各地に見られる。

戦後鹿児島はフィラリア県だという汚名を雪がねばならないとおこがましくも決意しました。

フィラリア仔虫は夜だけ体表表面に現れる性質を利用して夜、耳朶から採血して仔虫を探す。当時回虫薬として試供されていた薬剤が好運にもフィラリア仔虫にきくことがわかり、これを用いて仔虫を駆除する方法に成功しました。教室員の協力を得て鹿児島県の集団治療をはじめた。やがて国が九都県を対象にフィラリア対策を行うことになり、実施方法は我々の方式が採用された。昭和三十七年から国が七年、その後三年間県単独の援助を得て精力的な夜間の採血、集団治療が行われた。

その結果全国的に二〇一万余検血し、三万四千人余りの仔虫陽性者が発見され、鹿児島県は七十四万人余り検血して二万七千人余りの仔虫陽性者が発見された。鹿児島県の仔虫陽性者は全国で断然トップの約八割を占め、第二位長崎県が二割近く、他の郡、県はごく僅かであった。鹿児島県は昭和五十四年フィラリア撲滅宣言をした。一病をなくするために三十年の歳月を要したことになる。大仕事であった。

その間昭和四十三年第三回日米医学協力計画寄生虫部会を私が鹿

児島でやることを引き受け日米のフィラリア研究者が大挙して集まり討議が盛んに行われたことが懐かしく思い出される。

沖縄は昭和三十七年(一九六二年)私が政府の命令で復帰にそなえて米占領下の沖縄の医療状況の調査に出かけた際、フィラリア対策は放置されていたので米民政局にフィラリア対策を推進するよう進言したことがある。その後、日、米、琉の予算で対策が実施され成果をおさめたことは嬉しいことである。

日本ではフィラリアが追放され過去の病気になるにつつあるが近隣諸国をはじめ世界的には多くの国がこの病気に悩んでいるので日本の経験が国際貢献の一助になれば望外の喜びであります。

私は明治に生まれて今日まで生かされて八十二才八月月になりました。この生かされている命を毎日大切に精一杯、人のため世のためにも役に立てたいと念願しております。

国際化時代、我が国の国際貢献が問われています。

町制八十周年の目出度い節目に当たり加治木町の二十一世紀に向けて日本いや世界の加治木へと飛躍、発展することをお祈りしますと共に加治木町民の皆様、御列席の皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈りしまして御礼の御挨拶に代えさせていただきます。

誠に有り難うございました。

それは加治木町としての歴史のはじまりだった

加治木は、明治四十五年町制を施行し、より一層の弾みをつけることになりました。学校や公的施設、発電所などが



龍門滝を前に
紋付袴にカンカン帽姿で

相次いで開設され、その変貌ぶりには、更なる発展をめざすエネルギーに満ちているかのように、目をみはるものがありました。

町制施行八十周年の記念式典を心からおよろこび申し上げます。この度は身に余る光栄に浴し我が人生に於ける至福これに過ぎるものがございます。遠慮なく頂戴させていただきます。過去をふり返って見て私自身加治木町のため何一つした覚えもありません。頂戴するには私なりにいろいろと考えましたが意を決して折角の光栄を頂く事にいたしました。心から深くお礼申し上げます。本日の記念式典には出席いたし

町民榮譽賞

お礼のことば

＜井筒昭男氏＞



たいのでありますが、あいにく九州場所中でありまして私は場所中の責任者をおおせつかつておりますれば出席できないことを心苦しく思っております。悪しからずお許しください。代理に渡辺賢一郎を出席いたさせますのでよろしくお願い申し上げます。町制施行八十周年記念式典が盛会に行われますこととして今後益々加治木町の発展とご列席の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



戦前の太鼓踊り(仮屋馬場)



島津屋形ご対面所(戦禍で焼失)



武者姿の少年たち 妙円寺詣りか？



欄干橋を渡って学校へ
戦災復興で都市計画路
としてとりこわされた

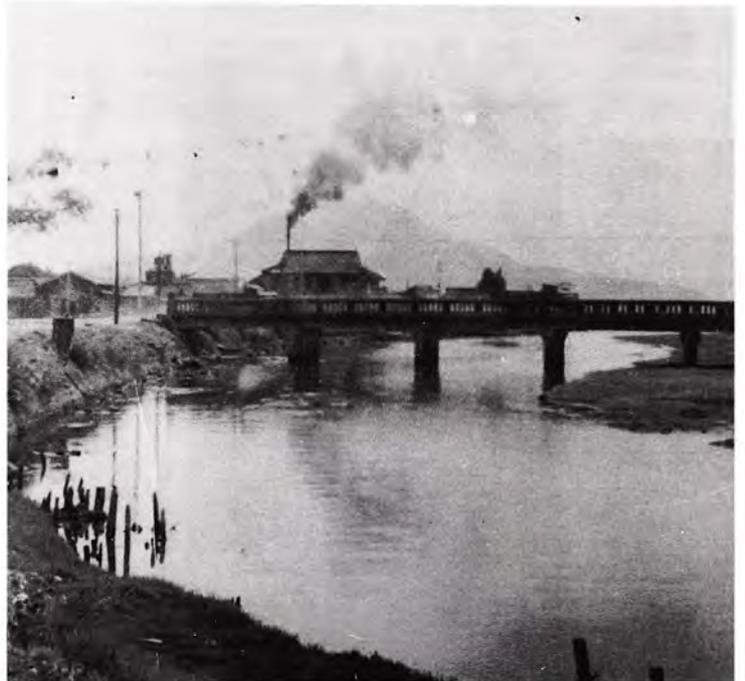


ありし日の黒川海岸

写真に見る
80年のあしあと



昭和31年協和醸酵に勤める人たち
日なたぼっこをしている



桜島の噴煙ならず 当時のにぎわいを
ほこるようにけむりを上げる西海荘

町は動乱の中で、経済成長と
もに変貌してきました。
道路は整備され、企業や工場が
増え、産業は発展の一途をたどる
ばかりです。戦後復興の苦しい時
代から人々は、うれしいこと、哀
しいこと、感動すること、いろい
ろなことに心動かしながら、昨日
とは少しずつ違う今日を求めて、
ここまで辿りついたのです。



天皇行幸 S24.6.2 加治木高校

苦悩と努力
の日々が町の
いしづえとなった



住宅も崩壊寸前！

＜ルース台風＞



冠水状態の向江新田



のんびりした舌出しの朝



ヘリコプターで塩
入新田を航空防除



昔の蒲生田通り